



## 丹沢・大山

2021年1月22日(金)快晴

Report by 堀

当初の予定では1月23日(土)の計画でしたが、土曜日の天気予報が悪くなつたため、急遽一日前倒しして22日に実施することにしました。

コロナの緊急事態宣言が出ていたこともあって、参加者は池戸さん、吉松さんと堀、3名でした。

企画者としては、来年以降、鍋割山の代替とする狙いもありその下見的な位置づけの山行です。

朝はユックリ出発で、秦野駅発8:02の神奈中バスで蓑毛へ。



バスはガラ空きで  
終点蓑毛では我々3人のみ。



出発写真を撮る。快晴だ！  
今日に変更してよかったです。



登り始めると直ぐに、昨春の鍋パーティで行った浅間山との分岐が現れる。今回はここから左方向のヤビツ峠に向かう。



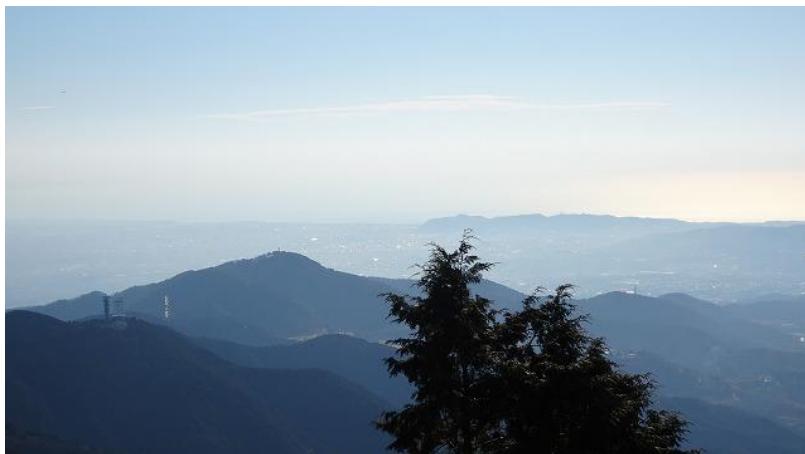
其処此処に植えられているミツマタが蕾を付けてい る。



嶽湧水という立派な標柱があるが、まさかこれ・・・湧水・名水と言つもチョロチョロ



1.5 時間ほどでヤビツ峠着。  
ここからは大山に向かって  
尾根道となる



気温が上がっているのか、  
春霞のような天気で、相模  
湾、真鶴半島も霞んでいる。



尾根筋ではあるが木立が多く見通しの効くところは少  
ない。  
結構な登りが続き、池戸さん  
は汗止めの鉢巻き姿。



富士山には笠雲が掛かって  
いる。天候悪化の前兆か。

ヤビツ峠を出て 1.5 時間。やっと大山表参道の 25 丁目に合流。

すぐに鳥居が現れる。ここまで来れば山頂はすぐそこだ。

二つ目の鳥居をくぐって山頂へ。

予定通りの 11:35 山頂“奥の院”着。

奥宮、ボロいシャッターが下りている。賽銭箱も出でていない。

シャッターの隙間から無理やり賽銭を投げ入れて、吉松さん何を祈るか・・・

(小銭でそんなにお願いされてもなア)・・・神様 (談)  
しかしやる気の見えない神社だなア

ここで昼食代わりのお菓子など食べ

(吉松さん) 食事中の御嬢さんに無理やりシャッターをお願いして、登頂写真！





今日は牡丹鍋を食べようというのが第二の目的なのでさっそく下山にかかる。

下りは見晴台経由で下社コース。かつては荒れていたが今は整備が行き届いている。

「私、そんなに若くないのよ」と若そうな女性の声に気を取られ、登山道に出ている木に頭をゴツン！とぶつけてしまった。



見晴台には 10 分遅れの 13:00 到着。

途中、池戸さんが脚を吊らせるトラブルもあったが、本人持参の薬で程なく治まったようだ。

見晴台は周囲の木が大きくなつたせいだろうか、下界方向はそれほど眺望は効かない。



13:45 下社に到着。

ここでもお賽錢をあげて池戸さんは甥っ子の合格祈願のお守りを買う。

堀はおみくじを引く。大吉！（ここはいつも大吉だ！お奨め！）



下社から女坂を下る。結構急な石段が続き、膝が痛む。



14:25 予定より 30 分ほど遅れてようやく “かんき樓” に到着。  
しし鍋単品を 3 つ頼んで先ずはビール。



鍋が煮える間に大山豆腐（やっこ）や自家製ゆず味噌の田楽などを肴に



燗酒で乾杯！  
イノブタですか？とおかみさんに一応聞いたら本物の猪肉だと言っていたが、猪鍋は秘伝の味噌仕立てとのことで獣臭さは無く、歯ごたえがあり、美味しい。肴もなかなか好評。  
お土産に干支（うし）の「楊枝入れ」をくれた。  
お一人様¥4,400

店の並ぶ参道を抜けて 10 分ほどで大山ケーブル駅バス停に着く。すぐにバスに乗り込み 16:05 発。  
入浴は、飲んだ後でもあり電車で逆戻りにもなるので、今回は PASS とした。  
小田急「伊勢原」駅から池戸さんは相模大野で、吉松さんと堀は町田で流れ解散となつた。  
予定を一日早めたおかげで好天に恵まれ、暖かく、良い一日となりました。林道歩きが無いので 25 千歩と鍋割山より 1 万歩ほど少なかったが、結構 “歩きで” はあつたという印象です。酒も鍋もけっこうでした。